

近年の試験の顕著な傾向への対策と 設計製図講座の特長とは

POINT

01

近年の設計製図試験は**建築計画力が重視される課題**が出題されている！



近年の設計製図試験の顕著な傾向として、平成21年に公表された「試験内容の見直し」以降は徐々に、可否の重要な鍵として、受験者の**真の建築計画力を測る内容の課題**となってきました。

POINT

02

今後の試験対策で最も重要なのは**基礎的な建築計画力**！



近年の試験の特徴である前もって予測することの難しい内容の課題等への対策としては、**単にいくつかの予想問題やパターン化した事項の記憶に頼るような方法のみでは不十分で、どのような課題にも共通し、対応できるような基礎的な建築計画力をしっかり身に付けることが最も重要で確実な合格への鍵となると考えることができます。**

POINT

03

本会の**設計製図講座の特長**！



本講座は、**設計(建築計画)及び製図**についての着実な基礎力の養成から着実な合格力の徹底養成を図るものですが、特に近年の試験の傾向から、**合格のための重要な鍵となるどのような課題にも共通し、対応できるような基本的な建築計画の考え方、建築計画力の徹底養成を図る内容**となっております。

通学、通信講座ともに全く同一のカリキュラム、内容で、建築計画力の段階的な徹底養成を図るために作成された全ての演習課題について添削指導することとしており、また、通学、通信講座ともに全ての演習課題について**建築計画上の考え方に重点を置いたWeb動画による詳細なサポート解説を配信**することとしております。

各段階の演習課題の内容は、本会会員の日本建築学会賞受賞者をはじめとする**第一級のベテラン講師陣が予め発表された本試験課題の内容を徹底的に分析、検討して作成したもの**であるため、演習課題の内容が本試験の課題内容と似たものとなることもしばしばありますが、本講座はあくまでも**予想問題やパターン化した事項の記憶のみによる勉強ではなく、着実な建築計画力の養成が合格へ導く最も重要で確実な道である**との主旨から構成され、着実な実績を上げております。